

## ＪＡ兵庫みらい自己改革の取り組み状況について

農業とＪＡを取り巻く環境は、少子高齢化や農業就業人口の減少など多くの課題が山積みとなっています。さらに政府は、農協改革とそれに伴う改正農協法の施行により、ＪＡの組織運営にかつてない大きな変化を求めています。

ＪＡ兵庫みらいでは、総合事業の展開により、自己改革の重点課題である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組み、持続的な地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現をめざします。

### 【目標】

○「グレードアップ兵庫県産山田錦」「黒大豆」などの特産品を地域の基幹作物として生産拡大に努め、農業者の所得増大に取り組みます。

（令和元年度目標）	・グレードアップ兵庫県産山田錦 契約数量	17.2万袋
（令和元年度目標）	・黒大豆 取扱高	1億円

○新たな特産品としてアスパラガスの施設栽培を推進します。

（令和元年度目標）	・アスパラガス 施設栽培面積	98a
（令和元年度目標）	・パイプハウス設置数	10棟

### 【重点とする取り組み】

○農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた取り組み

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題									
特産物のさらなる拡大と支援活動	新たな特産品づくりへの取り組み	<p>平成29年度よりアスパラガス栽培の普及に努めています。</p> <p>●ＪＡ実践型研修ハウスで試験栽培をおこない、新規栽培希望者に栽培の指導や支援をおこないました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成29年度</th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">生産者数</td> <td style="text-align: center;">9軒</td> <td style="text-align: center;">19軒</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">栽培面積</td> <td style="text-align: center;">42a</td> <td style="text-align: center;">81a</td> </tr> </tbody> </table> <p>●生産面積の拡大に向けて、広報誌やホームページで情報発信し、産地育成に取り組みました。</p> <p>●平成30年5月に、「ＪＡ兵庫みらいアスパラガス部会」を設立し、生産から販売までを支援するとともに「ひょうご推奨ブランド」を取得し、さらなる生産拡大に取り組みました。</p>		平成29年度	平成30年度	生産者数	9軒	19軒	栽培面積	42a	81a
	平成29年度	平成30年度									
生産者数	9軒	19軒									
栽培面積	42a	81a									

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題																								
<p>特産物のさらなる拡大と支援</p>	<p>農産物の産地振興と農家の所得向上 〔令和元年度目標〕 水 稲 4,448ha (うち「どんとこい」 60ha) 黒大豆 83ha 小 麦 277ha アスパラガス 98a</p>	<p>水稲・黒大豆・小麦・キャベツの4品目をJA兵庫みらいの主要作物として位置づけ、栽培指導の充実と販売力強化をめざして産地育成に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">作付面積 (単位: ha)</p> <table border="1" data-bbox="754 432 1433 678"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水 稲</td> <td>4,095</td> <td>4,149</td> <td>4,446</td> </tr> <tr> <td>(どんとこい)</td> <td>(13)</td> <td>(46)</td> <td>(58)</td> </tr> <tr> <td>黒大豆</td> <td>78.7</td> <td>81.0</td> <td>81.0</td> </tr> <tr> <td>小 麦</td> <td>319.4</td> <td>300.9</td> <td>275.0</td> </tr> <tr> <td>キャベツ</td> <td>7.1</td> <td>9.0</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>●加西、三木、小野地区で、各栽培講習会や刈取適期診断等を実施し、品質向上に努めました。</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	水 稲	4,095	4,149	4,446	(どんとこい)	(13)	(46)	(58)	黒大豆	78.7	81.0	81.0	小 麦	319.4	300.9	275.0	キャベツ	7.1	9.0	6.8
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																							
水 稲	4,095	4,149	4,446																							
(どんとこい)	(13)	(46)	(58)																							
黒大豆	78.7	81.0	81.0																							
小 麦	319.4	300.9	275.0																							
キャベツ	7.1	9.0	6.8																							
<p>特産物のさらなる拡大と支援</p>	<p>農業用パイプハウス等設置支援 〔3カ年目標〕 累計設置数 30棟 (付帯設備込)</p>	<p>パイプハウスおよび付帯設備(換気装置・自動給水装置・ボイラー・内張資材・遮光シート)を対象とした助成をおこないました。 補助率50%(上限50万円)</p> <p style="text-align: center;">設置支援数</p> <table border="1" data-bbox="778 1070 1417 1193"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプハウス</td> <td>2棟</td> <td>17棟</td> <td>16棟</td> </tr> <tr> <td>付帯設備</td> <td>3件</td> <td>17件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>●管内の農業者または農業者で組織する団体を対象に、営農振興作物栽培のためのパイプハウスおよび付帯設備の普及拡大に取り組みました。</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	パイプハウス	2棟	17棟	16棟	付帯設備	3件	17件	8件												
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																							
パイプハウス	2棟	17棟	16棟																							
付帯設備	3件	17件	8件																							
<p>農業担い手への訪問活動の強化</p>	<p>認定農業者宅を訪問し、対話活動の強化</p>	<p>常勤役員が管内の認定農業者宅を訪問し、JAが取り組む自己改革の説明と意見集約に取り組みました。</p> <p>【認定農業者訪問軒数】</p> <p>加西地区 35軒 三木地区 11軒 小野地区 17軒 合 計 63軒</p> <p>●今後は、訪問時に聞き取りした意見・要望をJA事業に活かすべく、関係部署とも連携し、自己改革に取り組んでいきます。</p>																								

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題
地域農業の支援強化	高品質苗の安定供給	人工光型植物工場「コンテナ式育苗装置」を活用し、直売所で不足している商品（レタス、キャベツ、白菜、ブロッコリー）の苗を、約 10,000 株育苗しました。育てた苗を直売所生産者に供給し、端境期対策に取り組みました。
生産資材の安定供給と支援	生産面でのコスト削減に貢献	<p>生産コスト低減を図るため、各種支援助成を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手支援助成として、水稻肥料農薬予約価格の 10%引きを実施しました。</li> <li>●大口利用者特別助成として、肥料・農薬価格の最大 5%引きを実施しました。</li> <li>●肥料引取（持ち帰り）奨励助成として、肥料 1 袋（1,000 円以上）に対して 50 円の値引きを実施しました。</li> </ul> <p>引き続き、高度化成肥料 14-14-14、ラウンドアップ、バスタ（除草剤）については、地域で一番の低価格をめざします。</p>

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題																								
魅力ある直売所へ	消費者ニーズにあった直売所の展開	<p>魅力ある店舗をめざし、消費者ニーズにあった品ぞろえやイベント等を実施しました。県内外のJAと提携し、季節商品・果樹・加工品等を販売しました。</p> <p style="text-align: center;">仕入品・加工品等販売額（単位：千円）</p> <table border="1" data-bbox="754 432 1414 515"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>5,672</td> <td>6,574</td> <td>6,092</td> </tr> </tbody> </table> <p>出荷会員を増やすため、生産者に栽培作物の提案や指導を実施しました。また副店長が農家訪問することにより、新規出荷希望者の情報収集にも取り組みました。</p> <p style="text-align: center;">新規出荷会員数（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="754 752 1414 920"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かさい愛菜館</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>三木みらい館</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>サンパティオおの</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>直売所店長と副店長が直売所研修の一環として、商品の品出しや接客マナーを学ぶため、(株)ダイエー神戸三宮店で店舗研修に参加しました。さらに、マーケットインの取り組みとして、加西産ブドウ「加西ゴールドンベリーA」の試験販売を同店で実施しました。</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	販売額	5,672	6,574	6,092		平成28年度	平成29年度	平成30年度	かさい愛菜館	17	14	18	三木みらい館	9	10	5	サンパティオおの	11	14	12
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																							
販売額	5,672	6,574	6,092																							
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																							
かさい愛菜館	17	14	18																							
三木みらい館	9	10	5																							
サンパティオおの	11	14	12																							
6次産業化への取り組み	農商工連携を進め、地域農産物のPRを目的に特産加工品の販路拡大に努める	<p>企業と連携し、管内の農産物を活用して加工品を製造し、直売所やJA間交流で販売しています。</p> <p>【平成30年度の新発売商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とまとチリソース（5月）</li> <li>・こまちソース（9月）</li> </ul> <p>「とまとチリソース」は2,300本、「こまちソース」は1,400本販売しました。平成29年5月に発売した「加西とまと洋食ソース」は4,200本販売しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●加西市内のコンビニエンスストアと連携し、特産加工品の店頭販売を実施しました。</li> <li>●市場出荷できない規格外品（いちじく、トマト）を買い上げ、ピューレに加工し、販売することで、生産者の所得向上に貢献しました。今後、ピューレの活用を学校給食等へ販売拡大し、地産地消の拡大に努めます。</li> </ul>																								

○地域の活性化に向けた取り組み

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題
地域コミュニティの活性化	<p>地域とＪＡのつながり強化を図る 〔3カ年目標〕 各支店年1回以上の開催</p>	<p>地域ふれあい委員会を開催し、地域の代表者と意見交換をおこない、地域とのつながりを深めました。 【平成30年度実績】 全14支店で実施</p> <p>営農生活センターの展示会や地域イベント等にも、支店職員が積極的に参加し、地域との交流を深めました。</p> <p>平成30年4月に貸農園「兵庫みらいアグリパーク」（三木市）を開園し、組合員や地域住民との「集いの場」を提供するとともに、農園利用者に向けた「栽培講習会」を開くことで、准組合員のＪＡ事業への積極的な参加を促しました。</p> <p>引き続き広報誌等で農園利用者の募集をおこない、「農業振興の応援団」のさらなる拡大に取り組みます。</p> <p>「食と農、地域とＪＡ」をつなぐ活動として「みらいキッズ親子農業体験」を開催しました。 【平成30年度参加者】 102名（うち子供57名）</p>
地域コミュニティの活性化	<p>地域みまもり活動 〔3カ年目標〕 周知および事案報告の徹底</p>	<p>地域防犯活動、災害時支援活動として、「みらいみまもり隊」「高齢者みまもり隊」の活動に取り組みました。</p> <p>●公用車に「みらいみまもり隊」シールを貼り付け、地域防犯活動に取り組みました。 また、各行政のＳＯＳネットワーク事業に参加し、行方不明者などの捜索協力事業者として活動しました。</p> <p>●地域の小学校の下校時にみまもり活動を実施しました。 【平成30年度実施支店数】 3支店</p>

取り組み	具体的な内容・目標	取り組み状況・課題
アクティブ・メンバーシップ (※)の実現	組合員や地域住民の「声を聴く」「共有する」取り組みを展開	<p>組合員や地域の「声を聴く」取り組みとして、認定農業者宅の訪問や、地区別懇談会を開催しました。</p> <p>JAの自己改革を広く組合員や地域住民に理解していただくための「のぼり旗」を作成し、本店、支店、各事業所へ設置しました。</p> <p>組合員の声をJA運営に反映し、より一層、組合員の期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAとなるよう、組合員アンケートを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アンケートの結果については、広報誌およびホームページに掲載しました。</li> <li>●アンケート結果では、利便性やサービス、メリットについて、営農指導、農畜産物販売、生産資材購買の各事業ともに、3年前より「改善している」との評価をいただきました。</li> </ul>

(※) アクティブ・メンバーシップとは、組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること。組合員が「わたしのJA」と思えるように努めること。